

令和3(2021)年度函館市公共下水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

令和3年度の処理区域内人口は223,634人となり、前年度に比べ3,265人減少したが、下水道普及率(行政区域内人口に対する処理区域内人口の割合)は、前年度と同じ90.8%となった。

また、水洗化区域内戸数は135,721戸、水洗化済戸数は130,826戸となり、水洗化区域内戸数に対する水洗化済戸数の割合は96.4%となった。

事業収益については、使用水量の減少により下水道使用料が減少したものの、長期前受金戻入の増加等により、前年度に比べ3,691,954円の収入増(0.0%増)となり、総額で7,547,484,878円となった。

事業費用については、企業債利息の減少等により、前年度に比べ102,273,828円の支出減(1.6%減)となり、総額で6,400,235,362円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ105,965,782円増加し、1,147,249,516円の純利益を生じた。建設改良事業については、下水管渠工事、湯川ポンプ場電気計装設備工事等を予定どおり施行した。

なお、汚水処理施設事業、汚泥処理施設事業および函館湾流域下水道事業費負担金で、合わせて576,723,000円が建設改良費の繰越額となっている。